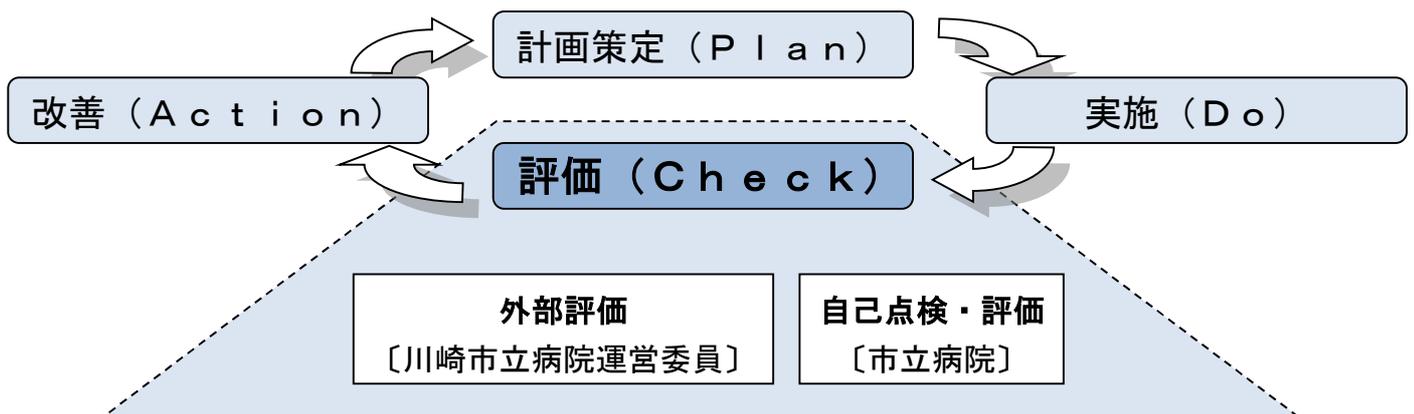


# 1 点検・評価の手法

P D C Aサイクルによる経営管理を実践するため、川崎市立病院中期経営計画2016-2020（以下「中期経営計画」という。）における、3つの「取組課題」と11の「取組項目」の単位で、病院毎に進捗管理を行い、年度単位で、自己点検・評価をするとともに、学識経験者や財務の専門家、医療関係者（医療関係団体代表）で構成する川崎市立病院運営委員会（以下「運営委員会」という。）に報告し、第三者の立場から客観的な御意見や運営委員会としての評価（以下「外部評価」という。）をいただき、「取組課題」の単位で、中期経営計画の進捗状況についての総括を作成しました。

「取組項目」の年度単位の自己点検・評価は、次ページに示した「目標の達成指標の考え方」に基づき行いました。

## 【P D C Aサイクルによる経営管理】



# 目標の達成指標の考え方について

(例)

→ <総括>として記載

## 4 具体的な取組

### (1) 川崎病院における取組

#### 取組課題1 医療機能の充実・強化

#### 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

##### ① 救命救急医療の充実

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れるよう体制の整備を進めます。

##### <主な取組>

- ・救命救急センター医師の安定的な確保
- ・救急医をサポートする救急救命士の確保・増員
- ・夜間・休日における緊急MRI撮影（磁気共鳴コンピューター断層撮影）実施体制の整備

##### 【成果指標】

	平成26年度（実績値）	平成32年度（目標値）
三次救急搬送患者応需率	97.4 %	98.2 %以上
救急自動車搬送受入台数	7,332 件	7,332 件

##### ② 災害医療機能の維持

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害発生時の孤立化（物資供給や電力の途絶など）に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。

##### <主な取組>

- ・災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保
- ・備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換
- ・災害時における情報伝達手段の確保（「かわさき Wi-Fi」整備）
- ・電気設備の浸水対策及び埋設給水管の耐震化

##### 【成果指標】

	平成26年度（実績値）	平成32年度（目標値）
災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	90 %	90 %以上
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	3 日間分	3 日間分

●「取組項目」に対する進捗状況指標の基準

進捗状況	説明	評価の目安
I	順調に進捗	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を上回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「順調に進捗している」と思われるもの
II	一定の進捗がある	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」程度の評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「一定の進捗がある」と思われるもの
III	進捗が遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を下回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が遅れている」と思われるもの
IV	進捗が大幅に遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「D」を下回るの評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が大幅に遅れている」と思われるもの

●取組に対する達成度の評価基準

達成度	説明	評価の目安
A	目標を大きく上回って達成	成果指標の評価が平均して「2」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく上回って達成」と思われるもの
B	目標を上回って達成	成果指標の評価が平均して「3」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を上回って達成」と思われるもの
C	ほぼ目標どおり	成果指標の評価が平均して「3」程度で構成されており、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「ほぼ目標どおり」と思われるもの
D	目標を下回った	成果指標の評価が平均して「3」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を下回った」と思われるもの
E	目標を大きく下回った	成果指標の評価が平均して「4」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく下回った」と思われるもの

●成果指標の評価基準

評価	説明	評価の目安		
1	目標値を大幅に上回った		目標値に対して実績値が110%を超えている	目標値に対して実績値が90%未満
2	目標値を上回った		目標値に対して実績値が105%を超え110%以内	目標値に対して実績値が90%以上95%未満
3	目標値を概ね達成した		目標値に対して実績値が95%以上105%以内	目標値に対して実績値が95%以上105%以内
4	目標値を下回った		目標値に対して実績値が90%以上95%未満	目標値に対して実績値が105%を超え110%以内
5	目標値を大幅に下回った		目標値に対して実績値が90%未満	目標値に対して実績値が110%を超えている

# 「取組進捗状況管理シート」について

川崎病院

取組進捗状況管理シート

No.1

## 取組課題1 医療機能の充実・強化

### 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

#### ① 救命救急医療の充実

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れられるを進めます。

#### <今年度の取組内容>

・取組項目実現のために行う具体的な内容を、年度当初に記載しています。

#### <取組内容>

##### 平成28年度の主な取組内容

- ①救急やがん等の医療機能強化に向け、「医療機能再編基本構想」の策定
- ②救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保
- ③川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力

#### <成果指標>

		※平成28～31年度の目標値は目安として設定					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
三次救急搬送患者 応需率	目標値			97.6%	97.7%	97.9%	98.1%
	実績値	97.4%	99.0%	97.9%			
	評価			3			
救急自動車搬送 受入件数	目標値			7,332件	7,332件	7,332件	7,332件
	実績値	7,332件	7,075件	6,827件			
	評価			4			

#### <成果指標>

・計画に掲げている成果指標について各年度単位の実績を記載し、評価しています。  
※指標の評価基準は、前ページ参照

#### <自己評価>

評価の理由と今後の課題		平成28年度の達成度
・「救急自動車搬送受入件数」については、目標値を達成しなかったものの、「三次救急搬送患者応需率」は、目標値を上回り、救命救急センターとして「断らない救急」を目指すという目的は、達成できたものと考えております。 ・今後の課題としては、二次救急患者の応需件数が横ばいのため、更なる対策が必要と考えます。		C ほぼ目標どおり

#### <取組に対する達成度>

・「成果指標」と指標以外の成果とを勘案し、自己評価した結果について、運営委員会の意見をいただき、今年度の達成度を評価しています。

#### <具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016～2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<平成31年度>	<平成32年度>
●救命救急センター（救急科）医師の安定的な確保	目標値		18名	18名	18名	18名	18名
	実績値	17名	16名	18名			
●救急医をサポートする救命救急士（非常勤）の確保	目標値	※定数は2名	2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	1名	1名	1名			
●夜間・休日における緊急MRI撮影実施体制の整備	目標値	※H27.12から実施	整備・実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		整備・実施	実施			
救命救急センター医師事務補助者の継続配置	目標値		1名	1名	1名	1名	1名
	実績値		1名	2名			
救急隊との症例検討会の開催	目標値		4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回			
川崎市救急隊会議への参加	目標値		延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ8名			
川崎市救急隊講演会への参加	目標値		延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ4名			
川崎市メディカルコントロール協議会への参加	目標値		参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加			
川崎脳卒中ネットワークへの参加	目標値		参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加			

#### <具体的な取組>

・中期経営計画に掲げた「主な取組」及びその他の具体的な取組事項について、目標値と実績を記載しています。

<取組項目毎の進捗状況>

・「取組項目」単位の進捗状況を運営委員会にて御意見をいただいて、評価しています。

川崎病院

取組課題の取りまとめシート

取組課題 1 医療機能の充実・強化

<取組項目>

取組項目	平成28年度の主な取組内容	評価の理由と今後の課題	28年度の達成度	進捗状況
<b>取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化</b>				
① 救命救急医療の充実	①救急やがん等の医療機能強化に向け、「医療機能再編基本構想」の策定 ②救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保 ③川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力	・「救急自動車搬送受入件数」については、目標値を達成しなかったものの、「三次救急搬送患者応需率」は、目標値を上回り、救命救急センターとして「断らない救急」を目指すという目的は、達成できたものと考えております。 ・今後の課題としては、二次救急患者の応需件数が横ばいのため、更なる対策が必要と考えます。	C. ほぼ目標どおり	II. 一定の進捗がある
② 災害医療機能の維持	①派遣要請対応 ②各種訓練実施・参加 ③DMAT隊員の養成 ④備蓄用飲料水の増加	・「災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率」は、2件の派遣要請（熊本地震、浮島ジャンクション事故）に対応しました。 ・各種訓練（政府訓練、関東ブロック訓練、市総合防災訓練など）に参加し、隊員の技能向上に努めました。	B. 目標を	

<委員会委員による意見>

・運営委員会における委員の意見を取りまとめ、記載しています。

<外部評価>

委員会委員による意見

●目標値達成に向けた取組状況及び進捗状況について説明を受け、委員会にて評価した結果、各取組項目に対する達成度の判定を適当と認めた。  
なお、協議にあたり各委員から出された意見等は次のとおり。

【取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化 <①救命救急医療の充実>】  
・救急自動車搬送受入件数が増加すれば、今度三次救急を断らざるを得ない例が増えてしまう二律背反ではないか。両成果指標を達成することは、非常に難しい。  
・救命救急医療の充実については、三次救急搬送患者応需率が目標値を上回っており、本来の業務を行っていることを評価する。二次救急応需件数が、横ばいであることは、川崎市（川崎区）全体での二次救急発生件数が増加している限りは現状を追認する。公的病院の責務として市内（区内）での救急対応が市（区）として不足していなければ、現状をもって可とする。

【取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充 <〇がん診療機能の強化>】  
・がんの手術件数が目標に達していないが、そのかわり内視鏡治療が増えている。現在の医療の傾向として、手術治療よりも内視鏡治療の方の比重が増えているからだと思われる。今後、計画策定時は、どの治療法を強化するかを含めて、予測をお願いできればと思う。  
・公的病院の責務として市内（区内）でのがん診療が市（区）として不足していなければ、現状をもって可とする。

【取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進 <①地域医療連携の推進>】  
・患者数の実数が減っている中で、地域医療連携は順調に行っているのか、という議論があったが、積極的な逆紹介の結果、患者数が減少しているという面もあり、患者数が減少しているからといって、地域医療連携が順調に行っていないということにはならない。